障がい者の自立への支援 ～後見の社会化を～

杉本　熊野　議員
（新政みえ／津市選出）

問　現在の障がい者への支援は親が中心であるため、死別や高齢化などで支援ができなくなった時に、代わりに誰が支援してくれるのか、深刻な問題です。

現在の成年後見制度については、大きく期待されていますが、活用はあまり進んでいません。

本県のこの制度の活用状況など、障がい者の権利擁護に関する現状と課題、今後の取り組みの方向性を伺います。

答　制度の利用者は増加していますが、理解が不十分であること、事前調査・申立て手続きの煩雑さなどの課題があります。

本年度設置した「④障がい者権利擁護委員会」での議論を踏まえ、県が担う機能、関係機関との役割分担の検討を行うほか、制度の理解を深めるための継続的な取り組みを行っていきます。

その他の質問事項

○伊勢湾台風50年　災害に強い地域社会の実現に向けて　ほか

県立特別支援学校東紀州くろしお学園の校舎整備

森本　繁史　議員
（自民みらい／熊野市・南牟婁郡選出）

問　東紀州くろしお学園は、地域の2か所の小学校に併設されていますが、物理的にスペースが不足しています。教育警察常任委員会では、適切な特別支援教育を受けられる環境の整備の推進を、第1回定例会で要望しました。

校舎の整備について、平成23年度を初年度とする「県立特別支援学校整備第二次実施計画」の中で取り組むのか、教育長の決意を伺います。

東紀州くろしお学園

答　私も現地を訪れ、施設に大きな課題があると認識しており、教育改革推進会議の部会では計画策定に向けて、先行的に検討しています。

今後、整備について、関係者との協議をさらに重ねて課題を整理し、「第二次実施計画」の中に位置づける方向で、検討を進めていきます。

その他の質問事項

○知事の政治姿勢　ほか

多様な主体の連携の仕組みづくり ～海岸清掃のゴミ処理～

田中　博　議員
（新政みえ／鈴鹿市選出）

問　市民がボランティアで海岸清掃を行った場合、集めたゴミの処理が難しく、清掃を中止する団体も出ています。海岸の管理者である県がリードし、解決策を見つけるべきではないですか。

また、「美し国おこし・三重」の観点から、ボランティアをはじめ、関係市町、NPOなど多様な主体が自主的・継続的に活動できる仕組みを構築すべきと考えますが、いかがですか。

答　海岸漂着物の回収や処理方法などについて、継続的に取り組める仕組みを作るため、地域住民、民間団体、市町などで構成する協議会を設立します。

また、地域をより良くするきっかけづくり、自立・持続する仕組みづくりを支援する「美し国おこし・三重」の考え方を生かし、それらの取り組みを進めます。

海岸清掃活動

その他の質問事項

○変化と環境施策への対応ほか

シャープ亀山工場設備の一部売却による県補助金の返還

萩原　量吉　議員
（日本共産党三重県議団／四日市市選出）

問　多額の補助金を交付しているシャープ㈱では、多数の派遣切りを行い、また生産設備の一部を中国企業に売却すると発表しました。協定書や条例などに基づき、補助金の返還を求めるべきです。

答　今回のパネル生産設備の売却に関しては、詳細を十分調査の上、条例・規則などの規定により、適切に対応していきます。

地域がん登録の実施に向けて

今井　智広　議員
（公明党／津市選出）

問　県民が最も充実を望む「がん」への対策を、優先的かつ効果的に推し進めるため、対策の企画立案に必須のがん統計である「⑤地域がん登録」の実施に向けた体制整備、早期実施は欠かせません。今後の実施予定をお聞かせください。

答　院内がん登録病院数の増加など、地域がん登録の実施に向けた基盤が整ってきたことから、年度内には関係機関の代表などで構成する検討会を立ち上げ、実施時期などの検討を進めていきます。

文中の傍線部分については、5ページに用語解説を掲載しております。